

株主のみなさまへ

第191期 事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



秩父鉄道株式会社

拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第191期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く環境は、沿線人口や就学人口の減少、電力料金の値上げ等により依然厳しい状況が続きました。当連結会計年度におきましては、各事業にわたり積極的な営業活動を行い業績の向上に努めてまいりましたが、2月の記録的な豪雪により列車運休や観光事業施設の休業を余儀なくされた他、バス事業や索道事業などの業績にも影響を及ぼしました。

その結果、当連結会計年度の営業収益は5,600,186千円(前期比1.6%の増収)、営業利益は99,511千円(前期比28.7%の減益)、経常利益は73,459千円(前期比32.1%の減益)、純利益は57,590千円(前期比35.5%の減益)となりました。

当社では、株主の皆様をはじめ、お客様、沿線地域社会の信頼に応えられる企業となるため、安全・安心対策に継続的に取り組むことが最優先課題であり、それに加えて沿線自治体等の施策に協力し、企業誘致、定住人口増加など、地域社会の活力の維持・向上に積極的に関与していくことが重要と認識しております。安全・安心対策としては、施設の継続的な整備に加え、全従業員が安全性向上のために何をなすべきかを考え、個々の責任を常に強く認識して業務に従事するよう教育に努めてまいります。一方、現在新駅の設置について関係自治体と協議を進めておりますが、この実現は当社の社会的責務である地域社会の活性化への大きな契機となることが期待できるものであり、積極的に対応しております。

また、企業として持続的な成長を続けるため、グループレベルで経営資源を最大限に活用し、各事業部門及びグループ各社の黒字化、安定的な営業利益を確保できる構造の確立を目指してまいります。

平成26年6月

代表取締役社長 大谷隆男

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み当社と子会社6社で構成されております。当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、「輸送の安全確保が最大の使命である」という認識のもと、設備面では、引き続き車両の更新やコンクリート枕木化工事、第4種踏切道安全対策工事など設備面での改良に取り組みました。

営業面では、鉄道各社との合同によるハイキングの開催、「SLわくわくチケット」「ながとろ満喫きっぷ」といった区間や地域を限定した独自の企画乗車券の発売、また「HONDA」寄居工場の操業開始記念乗車券の発売などを行いました。その他、鉄道ファン向けの1000系引退記念イベント、SLライトアップ撮影会ツアーの開催、駅でのおもてなしとして納涼駅まつりやハロウィンミニイベントなど家族連れで楽しんでいただける企画まで幅広く実施したほか、新たな試みとしてSL列車はクリスマスと正月の特別運転を実施いたしました。

これらの積極的な旅客誘致によりSL関連を中心として定期外旅客が増加し、前年に比べ旅客人員及び旅客収入は増加いたしました。

貨物収入は、安定したセメント需要が継続し、前年に比べ輸送量が増加したことに伴い収入は増加いたしました。

一方、営業費用は、人件費の増加に加え電力料金の値上げの影響もあり増加いたしました。

以上の結果、鉄道事業の営業収益は3,504,538千円（前期比4.5%の増収）、営業損失は123,975千円となりました。



不動産事業

不動産事業におきましては、消費税率引上げ前の需要もあり請負工事及び仲介の成約件数は前年に比べ増加いたしました。また、賃貸では優遇キャンペーンを実施し入居率の向上を図りましたが、寄居駅前商業施設の契約期間満了により減収となりました。

その結果、営業収益は437,444千円（前期比15.1%の減収）、営業利益は219,545千円（前期比23.6%の減益）となりました。



バス事業

バス事業におきましては、営業収益は417,400千円（前期比7.5%の減収）、営業損失は11,817千円となりました。



観光事業

観光事業におきましては、長瀬ラインくだりをはじめ各施設でシーズンに合わせた様々な企画を実施した他、県内外での広告宣伝活動や観光業者への積極的な営業を実施いたしました。その結果、営業収益は301,963千円（前期比6.6%の増収）、営業損失は10,175千円となりました。



その他事業

建設業における公共工事の受注が堅調に推移いたしました。索道事業において、臘梅シーズンの最盛期に降雪の影響を受けました。その結果、営業収益は1,409,409千円（前期比4.2%の増収）、営業利益は3,237千円（前期比81.1%の減収）となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (平成 25 年度)	前連結会計年度末 (平成 24 年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,752,204	2,052,776	△ 300,572
固定資産	21,927,927	21,440,798	487,129
資産合計	23,680,132	23,493,575	186,557
(負債の部)			
流動負債	4,044,397	4,302,169	△ 257,772
固定負債	10,064,139	9,810,826	253,313
負債合計	14,108,536	14,112,996	△ 4,460
(純資産の部)			
株主資本	△ 163,841	△ 226,209	62,368
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	21,936	21,991	△ 55
利益剰余金	△ 907,866	△ 969,935	62,069
自己株式	△ 27,911	△ 28,265	354
その他の 包括利益累計額	9,724,244	9,595,626	128,618
少数株主持分	11,192	11,160	32
純資産合計	9,571,595	9,380,578	191,017
負債純資産合計	23,680,132	23,493,575	186,557

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

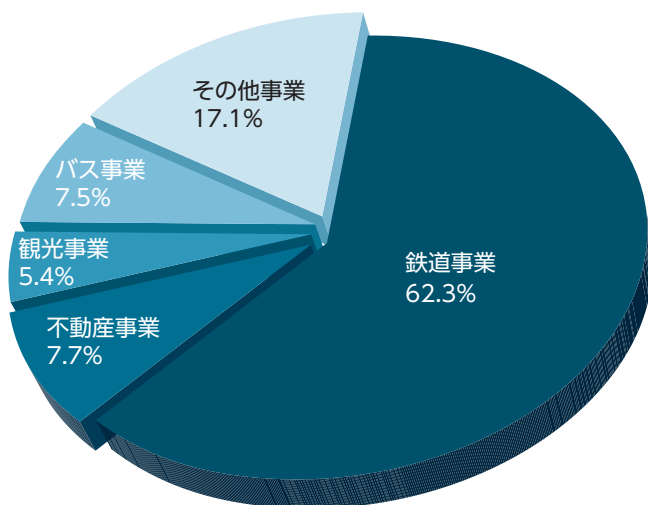
連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (平成 25 年度)	前連結会計年度 (平成 24 年度)	増減額
営業収益	5,600,186	5,512,924	87,262
営業費	5,500,675	5,373,417	127,258
営業利益	99,511	139,506	△ 39,995
営業外収益	53,740	54,805	△ 1,065
営業外費用	79,792	86,183	△ 6,391
経常利益	73,459	108,128	△ 34,669
特別利益	278,861	318,777	△ 39,916
特別損失	281,338	321,222	△ 39,884
税金等 調整前当期純利益	70,981	105,683	△ 34,702
法人税、住民税 及び事業税	16,706	16,729	△ 23
法人税等調整額	△ 3,280	△ 345	△ 2,935
少数株主損益	△ 34	△ 28	△ 6
当期純利益	57,590	89,328	△ 31,738

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比



連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年度)	前連結会計年度 (平成24年度)
株主資本		
前期末残高	△ 226,209	△ 315,171
(当期変動額)		
当期純利益	57,590	89,328
自己株式の取得	△ 122	△ 393
自己株式の処分	421	26
土地再評価差額金の取崩額	4,479	-
当期変動額合計	62,367	88,961
当期末残高	△ 163,841	△ 226,209
その他の包括利益累計額		
前期末残高	9,595,626	9,539,940
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	128,617	55,686
当期変動額合計	128,617	55,686
当期末残高	9,724,244	9,595,626
少数株主持分		
前期末残高	11,160	11,173
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	31	△ 12
当期変動額合計	31	△ 12
当期末残高	11,192	11,160
純資産合計		
前期末残高	9,380,578	9,235,942
(当期変動額)		
当期純利益	57,590	89,328
自己株式の取得	△ 122	△ 393
自己株式の処分	421	26
土地再評価差額金の取崩額	4,479	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	128,649	55,673
当期変動額合計	191,017	144,635
当期末残高	9,571,595	9,380,578

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当会計年度末 (平成25年度)	前会計年度末 (平成24年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,359,686	1,650,154	△ 290,468
固定資産	21,649,557	21,163,450	486,107
資産合計	23,009,244	22,813,604	195,640
(負債の部)			
流動負債	3,792,869	3,997,318	△ 204,449
固定負債	9,892,199	9,750,378	141,821
負債合計	13,685,069	13,747,696	△ 62,627
(純資産の部)			
株主資本	△ 391,697	△ 457,020	65,323
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	14,106	14,106	-
利益剰余金	△ 1,127,892	△ 1,192,861	64,969
自己株式	△ 27,911	△ 28,265	354
評価・ 換算差額等	9,715,872	9,522,928	192,944
純資産合計	9,324,174	9,065,908	258,266
負債純資産合計	23,009,244	22,813,604	195,640

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

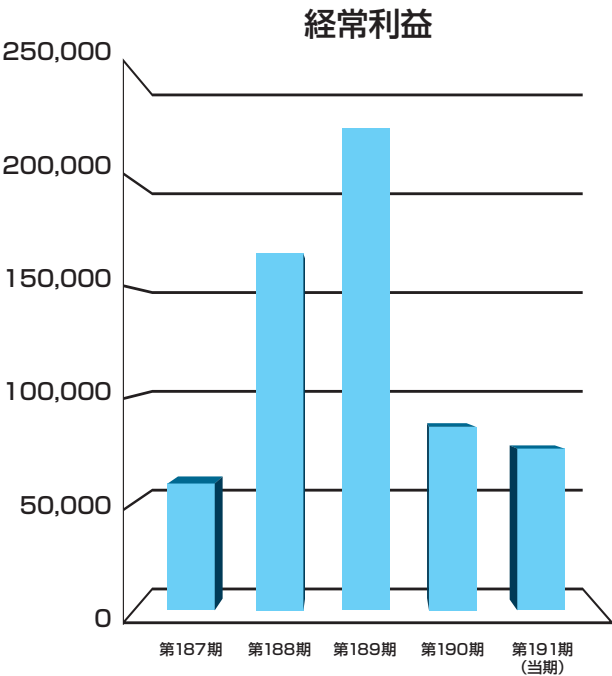
損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当会計年度 (平成25年度)	前会計年度 (平成24年度)	増減額
鉄道事業			
営業収益	3,504,538	3,352,881	151,657
営業費	3,626,820	3,512,643	114,177
営業利益	△ 122,281	△ 159,761	37,480
不動産事業			
営業収益	437,444	515,074	△ 77,630
営業費	217,846	227,765	△ 9,919
営業利益	219,597	287,308	△ 67,711
観光事業			
営業収益	301,963	283,251	18,712
営業費	310,637	290,430	20,207
営業利益	△ 8,674	△ 7,178	△ 1,496
全事業営業利益	88,641	120,368	△ 31,727
営業外収益	56,500	48,024	8,476
営業外費用	71,636	82,946	△ 11,310
経常利益	73,505	85,446	△ 11,941
特別利益	278,499	317,501	△ 39,002
特別損失	285,165	317,107	△ 31,942
税引前当期純利益	66,839	85,840	△ 19,001
法人税、住民税 及び事業税	8,745	8,890	△ 145
法人税等調整額	△ 2,451	-	△ 2,451
当期純利益	60,545	76,950	△ 16,405

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表



株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	当会計年度 (平成25年度)	前会計年度 (平成24年度)
株主資本		
前期末残高	△ 457,020	△ 533,603
(当期変動額)		
当期純利益	60,545	76,950
自己株式の取得	△ 122	△ 393
自己株式の処分	421	26
土地再評価差額金の取崩額	4,479	-
当期変動額合計	65,322	76,583
当期末残高	△ 391,697	△ 457,020
評価・換算差額等		
前期末残高	9,522,928	9,470,395
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	192,944	52,532
当期変動額合計	192,944	52,532
当期末残高	9,715,872	9,522,928
純資産合計		
前期末残高	9,065,908	8,936,791
(当期変動額)		
当期純利益	60,545	76,950
自己株式の取得	△ 122	△ 393
自己株式の処分	421	26
土地再評価差額金の取崩額	4,479	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	192,944	52,532
当期変動額合計	258,266	129,116
当期末残高	9,324,174	9,065,908

＊ 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



わくわく鉄道フェスタ

5月18日(土)広瀬川原車両基地にて、2013わくわく鉄道フェスタを開催しました。約6,700名のお客様にお越しいただき、無事にイベントを終了することができました。



ちびっこ納涼えき祭

8月3日(土)三峰口駅構内にて、ちびっこ納涼えき祭を開催しました。祭りでは、縁日コーナー、駅員なりきり撮影コーナー、鉄道グッズちょっぴりプレゼントなど、夏休みの思い出にお楽しみいただきました。



Honda埼玉製作所寄居工場
CITY R
開業記念乗車券

25.-7.20.
寄居
80
1日区間
平成25年12月31日
まで有効
下り乗車券
電話販売

25.-7.20.
寄居 ↔ 長瀬
460円
平成25年12月31日まで有効
下り乗車券
電話販売



Honda埼玉製作所寄居工場
CIVIC
開業記念乗車券

25.-7.20.
寄居
160
1日区間
平成25年12月31日
まで有効
下り乗車券
電話販売

**Honda埼玉製作所寄居工場
開業記念乗車券**
2013年7月

秩父鉄道株式会社
埼玉県秩父市東町1丁目1番地 049-523-2313(平日 09:00~17:00)

Honda開業記念乗車券

Honda埼玉製作所寄居工場の開業記念として、往年の名車が乗車券になりました。



ハロウィンミニパーティ

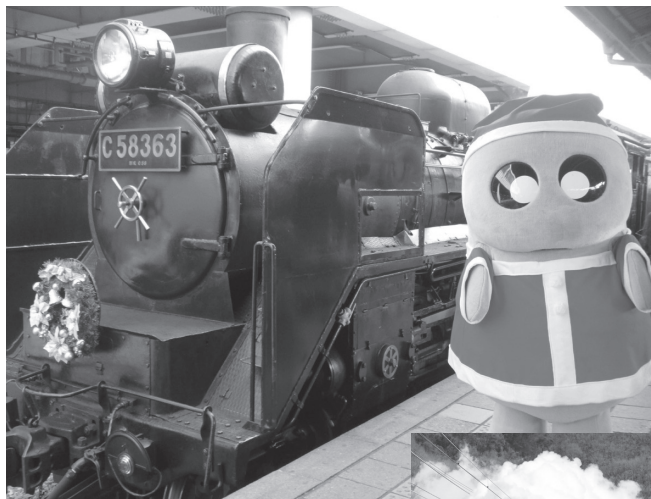
10月26日(土)三峰口駅構内にて、ハロウィンミニパーティを開催しました。仮装をしてきてくれたお友だちと楽しく記念撮影です。



1000系引退記念イベント

100系・800系を置き換えるため1985年から1989年に、JR(旧国鉄)から101系電車を購入し、1000系として12編成の使用を開始した車両です。

本年3月、1003号(オンレンジミリオン)の引退で、秩父鉄道での運用がすべて終了いたしました。



運行初! 冬休み臨時運転

S L クリスマスエクスプレス

S L 秩父路はつもうで号

1月1日(水)～1月3日(金)まで運行



観光事業

長瀬ラインくだりをはじめ各施設でシーズンに合わせた様々な企画を実施いたしました。



ラインくだりご乗船のお客様に「オリジナルうちわ」や「ポップコーン」をプレゼント。

女子会プランの実施、四季折々のメニューを発売。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(平成21年1月5日実施)の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内

日本証券代行
特別口座

特別口座で管理する株式を譲渡するためには、あらかじめ株主様ご自身名義の証券会社等の一般口座へ振替えておく必要があります。

証券会社
口座開設

証券会社に口座をお持ちでない場合は、株主様ご自身で証券会社に口座開設を行ってください。

口座振替申請書
提出

日本証券代行へ口座振替申請書を請求し、必要事項をご記入、届出を押印のうえ、口座振替申請書を日本証券代行にご提出ください。

特別口座から
証券会社口座へ
振替

口座振替は、1週間程度かかります。

証券会社口座

口座振替完了後は、株式のスムーズな譲渡が可能になります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

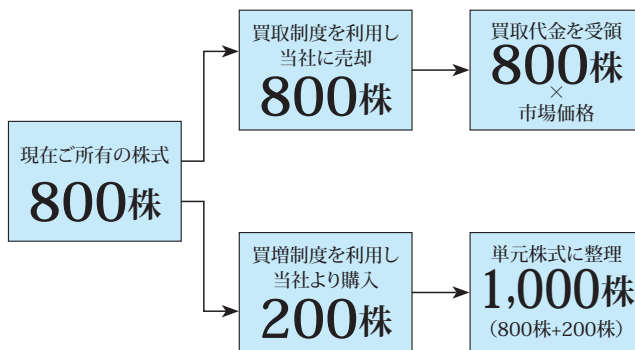
当社の単元株式数は、1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買取ることができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例)当社株式を800株ご所有の場合、その800株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(1,000株)の株式にする為必要な株式を買増することを当社に請求できる制度です。

(例)当社株式を800株ご所有の場合、200株を市場価格で当社から購入し、1,000株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行 代理人部(平日9:00~17:00)

0120-707-843

役員 (平成 26 年 6 月 25 日現在)

代表取締役社長	大 谷 隆 男
常 務 取 締 役	鎌 倉 良 之
常 務 取 締 役	赤 岩 一 男
取 締 役	高 柳 功
取 締 役	中 山 高 明
常 勤 監 査 役	高 田 眞 平
監 査 役	西 村 俊 英
監 査 役	小 林 隆 浩

株 主 メ モ

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日まで
定時株主総会	6 月
基準日	
定時株主総会	毎年 3 月 3 1 日
期末配当金	毎年 3 月 3 1 日
中間配当金	毎年 9 月 3 0 日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620
(郵便物送付先 お問い合わせ先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 0120-707-843(フリーダイヤル) 取次事務は、三井信託銀行株式会社の 全国本支店においても行っております。
公 告 方 法	東京都において発行する日本経済新聞
単 元 株 式 数	1,000株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が 間違いなく届きますよう、お早めに上記株主 名簿管理人にお手続きください。
ホームページ	http://www.chichibu-railway.co.jp ※(鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。)

毎年 3 月 3 1 日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
15,000 株以上 21,000 株未満	当社電車全線優待乗車証	1 枚
21,000 株以上	当社電車全線および・索道 (宝登興業株式会社) (宝登山ロープウェイ) 全線優待乗車証	1 枚

※有効期間・・・6 月 1 日から 1 カ年間(5 月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
1,000 株以上 3,000 株未満	2 枚
3,000 株以上 5,000 株未満	4 枚
5,000 株以上 10,000 株未満	6 枚
10,000 株以上	10 枚

※有効期間・・・7 月 1 日から 1 カ年間(6 月下旬発送)

3. 優待割引券

ご所有株式数 1,000 株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5 枚
長瀬ライン下り	50%割引券 各 5 枚
有隣倶楽部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代 (飲み物は除く)	
秩鉄タクシー株式会社	運賃 200 円割引券 5 枚

※有効期間・・・7 月 1 日から 1 カ年間(6 月下旬発送)

秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>

